

境港ニュース



発行 境港貿易振興会

〒684-0046 鳥取県境港市竹内団地255-3 TEL (0859) 47-3905 / FAX (0859) 47-3906
E-mail sptpa@sanmedia.or.jp URL <https://www.sakaiminato-faz.co.jp/>

令和5年度 境港利用助成制度 申請書提出期限のお知らせ

令和5年度 境港利用助成制度の申請書提出期日は下記のとおりとなっております。申請される方は、提出期日にご注意ください。



① 令和5年4月1日～12月31日 境港利用分



注) 令和6年2月1日以降は申請不可

① 令和5年4月1日～12月31日 境港利用分

令和6年 **1月31日**
当会必着



② 令和6年1月1日～3月31日 境港利用分

令和6年 **4月10日** 当会必着

- 上限金額に達した時点
 - 年度内の利用が終了した時点
- での申請は随時受け付けております。

境港利用助成制度の詳細については、当会のホームページよりご覧いただけます。

<https://www.sakaiminato-faz.co.jp/>

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

② 令和6年1月1日～3月31日 境港利用分



境港利用促進セミナー 松江会場 を開催しました



日にち/令和5年12月5日(火)
場所/松江テルサ(島根県松江市)
時間/16:00～19:00
参加者/約80名

境港貿易振興会では、国際貿易港“境港”をアピールするため、毎年、利用促進セミナーを開催しており、昨年夏には5年ぶりに大阪で開催し、盛況のうちに終わることができました。今回、大阪でのセミナーで参加者から好評だった事例紹介を、地元企業の皆さまに向け、利用企業から再び発表いただきました。



<伊達会長の挨拶>

冒頭、伊達会長(境港市長)はあいさつの中で、2基目のガントリークレーンの供用開始、国際定期コンテナ航路の一部改編による中国側寄港地の増加などを報告。「物流業界における2024年問題への対応やカーボンニュートラルに向けた取り組みが進められる中、境港の立地条件を活かしたサプライチェーンの再構築の提案など、境港の利用促進と一層の利便性向上に取り組んでいく。境港利用をご検討いただきたい。」と呼びかけました。

セミナーでは、岩谷産業(株)(オンラインでの発表)・(株)ゴール・NTL内外トランスラインコリア(株)より事例紹介(内容は境港ニュース第108号参照)をしていただきました。その後、振興会より最新の港湾概況、昨年6月よりスタートしたリーファーコンテナ利用への助成や、境港物流転換トライアル助成などを含む荷主向け利用助成制度の



<懇親会の様子>

説明を行い、最後に、島根県より海外展開支援制度についてご紹介いただきました。

セミナー後には山陰開催では久しぶりとなる懇親会を実施し、情報交換や交流を深めていただく場としてご活用いただきました。懇親会にも多くの方にご参加いただき、会場内は非常に活気づいて、盛会のうちに終わることとなりました。

当会としましては、セミナー開催など境港のPR活動を継続して行い、一人でも多くの方に境港を知っていただき、利用に繋がられるよう取り組んで参ります。

国際定期コンテナ航路が一部改編されました

境港に寄港する国際定期コンテナ航路のうち、高麗海運・南星海運による協調配船航路の寄港地・寄港日が昨年10月28日より一部改編され、内容は以下のとおりです。

改編内容



① 中国寄港地の変更

- 連雲港、青島 → 上海、寧波

② 水曜日寄港(韓国航路) → 土曜日寄港(韓国・中国航路)に変更

- 中国寄港地は、天津新港と青島
- 南星海運による境港での集荷サービスを開始

改編前		改編後	
月	韓国・中国(高麗海運・南星海運) ※中国寄港地：連雲港、青島	月	韓国・中国(高麗海運・南星海運) ※中国寄港地：上海、寧波
火		火	
水	韓国(高麗海運・南星海運)	水	
木	韓国(長錦商船・興亜LINE)	木	韓国(長錦商船・興亜LINE)
金	韓国(高麗海運)	金	韓国(高麗海運)
土	韓国(長錦商船・興亜LINE)	土	韓国(長錦商船・興亜LINE)
		土	韓国・中国(高麗海運・南星海運) ※中国寄港地：天津、青島

航路の詳細につきましては、
本ニュース最終面および
振興会HPをご覧ください!

引き続き、境港の利便性や優位性をアピールし、多くの方々に知っていただき、そして利用していただくため関係機関一丸となり、貨物獲得に向けポートセールスを行って参ります。



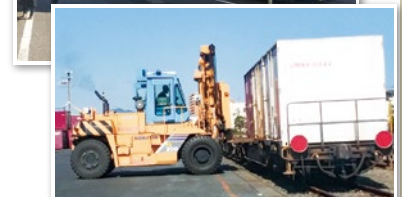
下関港・北九州港を視察しました



昨年11月に日中韓3ヶ国における港湾について意見交換を行う「第23回北東アジア港湾シンポジウム」が韓国釜山で4年ぶりに対面開催され、出席しました。本シンポジウムに出席するため釜山へ向かう道中、下関港と北九州港の視察を行う機会がありましたので、概要報告いたします。

下関港メモ

- ✓ 韓国(毎日)、中国(週2便)へのフェリーを利用し、「海よりも速く!空よりも安く!」がコンセプト。運航定時性、迅速な通関体制に加え、JR貨物との連携によるSEA&RAILでの長距離輸送にも強みを有する。
- ✓ 輸出貨物のヤード搬入カットは当日の午前中。急ぎの貨物で利用する荷主への対応のため可能な限りギリギリまで荷受けする。輸入貨物は入港当日の午前中に通関し、午後からJR貨物、トラック等で配送→翌日には関東地区へ納品するなど、緊急での輸出入対応力の高さが魅力となっている。
- ✓ 日韓間では双方のナンバープレートを付けたシャーシでのRORO配送を一部で実施。蘇州下関フェリーを利用した日中間での輸送トライアルにも取り組んでいる。
- ✓ 通関、植物検疫は年中無休。動物検疫、食品検査は週6日体制で即日通関・即日発送を実施。船社・港湾荷役業者、CIQ、行政らが下関港利用の物流コンセプトを共有し、連携しつつ一体となってサービス構築に取り組まれているのが印象的であった。



<下関港およびJR貨物ターミナル>

北九州港メモ

- ✓ 門司(太刀浦)コンテナターミナル(コンテナ船)、ひびきコンテナターミナル(コンテナ船)、新門司フェリーターミナル(貨客フェリー)など8つの港湾エリアで構成。北九州空港、JR貨物の北九州貨物ターミナル駅も近く、エリア内に物流選択肢が多い。
- ✓ 外航コンテナ船の寄港は門司(太刀浦)CTに、内航船航路の寄港はひびきCTに集約され、外航航路のごく一部のみ門司CTに加えてひびきCTにも寄港。
- ✓ R4年コンテナ貨物取扱量は48.8万TEU。(太刀浦で42.8万TEU、ひびきCTで5.2万TEU)
- ✓ R5年は前年比4.3%増加で推移。ひびきCTでの国際フィーダー航路による取扱貨物量30%増加分が寄与。
- ✓ ひびきCT内に取扱エリアを区切って、危険物屋外貯蔵所を設置し、CT内に24時間を超えて危険物コンテナを蔵置できる環境を整備(国内の消防法、高圧ガス保安法等への対応)。これによりCT内で最大30日まで蔵置可能となっている。
- ✓ 環境負荷軽減を進める自然エネルギー産業分野の集積を目指したグリーンエネルギーポートひびき事業の一環として、ひびき港の沖合にて大型洋上風力発電の設置(25基)が進められており、2025年の運用開始を目指して施工中。



<ひびきCTの様子>

今回の視察では下関市港湾局、北九州市港湾局などの関係者の協力のもと、ふ頭やコンテナヤード、CFSエリア等を見学させていただきました。実際に港湾機能を視察するとともに各港の取組みなどについてお話を伺うことで、境港の現状を再確認することができました。今後も他港連携を通じて境港が持つべき物流サービスの強み、機能の構築を港湾関係者と一体となって進めてまいります。

モーダルシフトセミナー(船舶編・鉄道編)が開催されました



モーダルシフトとは、トラックによる貨物輸送をより環境負荷の小さい鉄道や船舶利用へと転換することを示し、カーボンニュートラルなど環境負荷軽減、働き方改革関連法の施行に起因する物流2024年問題等への対応が必要となる中、物流及び荷主企業の関心が高まってきています。

昨年10月にモーダルシフトセミナー(船舶編・鉄道編)が開催され、出席しましたので概要を報告いたします。

船舶編

期日：令和5年10月18日

場所：**セミナー** みなとテラス(鳥取県境港市)

現地見学会 外港昭南地区
国際コンテナターミナル(鳥取県境港市)

主催：鳥取県、島根県、境港管理組合

セミナー

『境港概要について』

境港管理組合 係長 松田 尚志 氏

- ・境港の施設や航路などの情報提供と境港を利用したモーダルシフトの提案の説明

『内航コンテナ船の概要について』

井本商運(株)営業部 専任部長 中村 昭博 氏

- ・国際フィーダー航路を活用した内航輸送、2024年問題に対して海上輸送が担う役割等についての説明

現地見学会

ガントリークレーンによる荷役作業やCFS倉庫でのコンテナへの荷詰め作業の見学

主なポイント

- ・2022年2月に本格運航を開始し、境港から神戸港経由して台湾、東南アジア等へ接続する国際フィーダー航路では、国際輸送で用いられる海上コンテナを使用し、井本商運(株)が有する国内55の定期航路網を繋いで全国各地の港への大量輸送が可能。コンテナの片道利用も可能となっている。
- ・内航船、鉄道へのモーダルシフトにおいては、コンテナへのバンニング、トラックなど他輸送モードとの連携のほか、未利用荷主によるトライアル輸送の積極的な実施が不可欠。
- ・輸送量あたりのCO₂排出量が、トラックと比較すると約1/5程度に抑えられる。

鉄道編

期日：令和5年10月24日

場所：**セミナー** 米子コンベンションセンター(鳥取県米子市)

現地見学会 日本貨物鉄道(株)
伯耆大山駅(鳥取県米子市)

主催：鳥取県、島根県、日本貨物鉄道(株)

セミナー

『2024年問題と鉄道モーダルシフトの可能性』

東京海洋大学 名誉教授 苦瀬 博仁 氏

- ・直面する2024年問題への解決に向けた物流における輸送手段の選択や今後の課題

『貨物鉄道輸送のご紹介』

日本貨物鉄道(株)関西支社 副支社長 佐々木 康真 氏

- ・脱炭素社会や2024年問題への対応、最新の取組みや山陰地区における鉄道利用事例の紹介

『活用事例紹介』

日本通運(株)山陰支店 次長 谷本 和幸 氏

現地見学会

貨物鉄道輸送に使用されるJRコンテナ、鉄道シャーシへの積込作業、牽引貨物列車の見学

主なポイント

- ・担い手不足、カーボンニュートラルへの対応など社会インフラである物流を支えるための環境整備に向けて国が抜本的、総合的に取り組む「物流革新に向けた政策パッケージ」のポイントを説明。
- ・鉄道輸送は、環境負荷軽減、人手不足への対応、産業や地域生活の拠点化、中長距離での大量輸送によるコスト削減などに強み。また横開き、両開きの12フィート専用コンテナ利用による荷役の容易性にもメリットがある。
- ・集荷、鉄道輸送、配達までをワンストップで対応でき、貨物列車1編成(最長:26両)あたりの輸送能力は、10tトラック65台分に相当。
- ・輸送量あたりのCO₂排出量が、トラックと比較すると約1/11程度に抑えられる。



『災害時における海上輸送応援等に関する協定』が締結されました

昨年10月25日、境港管理組合は、大規模災害で道路・鉄道など陸上輸送が寸断した場合、RORO船を活用した海上輸送応援を迅速に行うことによりサプライチェーンの維持を図るとともに、物流2024年問題を背景とした海上輸送へのモーダルシフトを促進するため、近海郵船株式会社(東京都)、日本通運株式会社山陰支店(鳥取県米子市)、NX境港海陸株式会社(鳥取県境港市)の3社と協力協定を締結されました。

協定概要は以下のとおりです。

■災害時応援

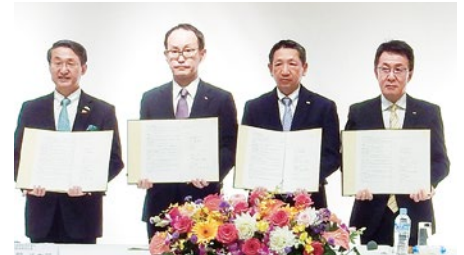
- ・境港からの要請により、災害時の物資輸送、物流専門家の派遣等に協力すること
- ・船社からの要請により、緊急時等における境港寄港に協力すること

■RORO船利用に向けた事前体制

- ・輸送資機材の確保や連結検討、特殊車両通行許可手続等を事前に準備しておくこと
- ・災害時海上輸送訓練を定期的実施すること

■モーダルシフト促進に向けた環境整備

- ・圏域業者への啓発やノウハウの習得など、境港を活用したモーダルシフト促進に向けた取組に協力すること



締結の様子

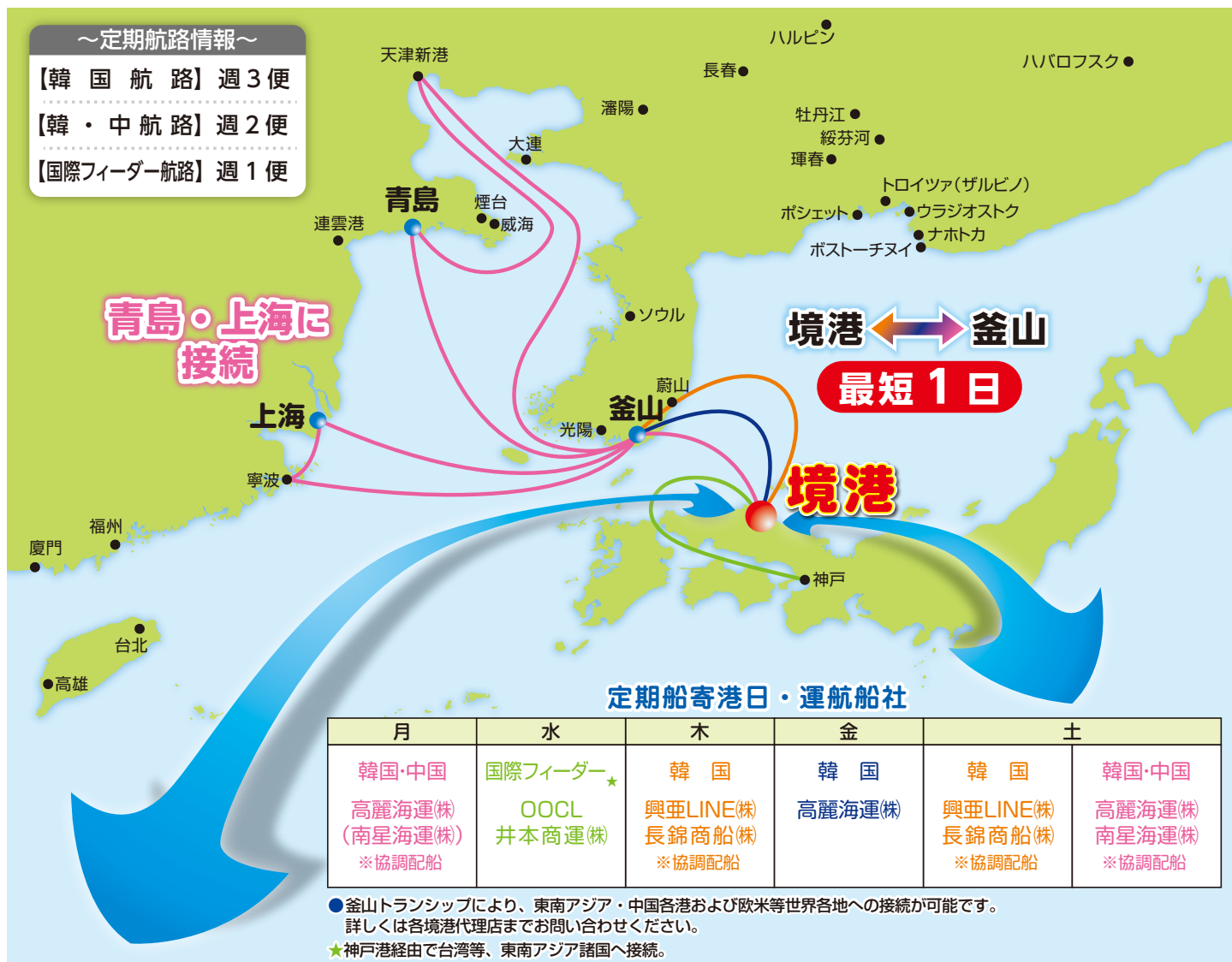
写真左から

境港管理組合：平井管理者
近海郵船(株)：関社長
日本通運(株)：林山陰支店長
NX境港海陸(株)：角田社長
<写真提供:境港管理組合>

境港定期船運航図

境港に寄港している定期船のスケジュール

(2023年12月現在)



当会のホームページから、境港定期船運航図の詳細についてご覧いただけます。<https://www.sakaiminato-faz.co.jp/>

具体的な見積り等についてのお問い合わせ先 ～通関からお手元までトータルなサービスを提供する地元企業～

企業名	業務	連絡先
NX境港海陸 株式会社 (高麗海運(株)・長錦商船(株)・南星海運(株)・OOCL 境港代理店)	荷役 通関 保管 運送	TEL 0859-44-1652 https://nxsakaiminato-kairiku.com
株式会社 上組 大阪支店 境港出張所 (興亜LINE(株) 境港代理店)	荷役 通関 保管 運送	TEL 0859-45-8707 http://www.kamigumi.co.jp/
株式会社 ニューウェーブ インターナショナル	貨物集荷代理店	TEL 0859-38-1150 http://www.new-wave-int.jp/
株式会社マブチ 第一事業本部 鳥取工場	輸出梱包 大型貨物梱包 (出張サービス可)	TEL 0859-39-6300 http://www.k-mabuchi.co.jp/
ヤマト運輸株式会社 山陰パッキングセンター	輸出梱包 大型梱包 運送	TEL 0859-21-7331 http://www.kuronekoyamato.co.jp/

関係機関が相互に連携して、いろいろなご相談に応じます

機関名	主な業務	連絡先
境港貿易振興会	ポートセールス (利用助成制度)	TEL 0859-47-3905
境港管理組合	港湾施設管理	TEL 0859-42-3705
とっとり国際ビジネスセンター (公財)しまね産業振興財団	貿易サポート	TEL 0859-30-3161 TEL 0852-22-6193
ジェトロ鳥取貿易情報センター	国際ビジネス情報の 提供・相談・企業支援	TEL 0857-52-4335
ジェトロ島根貿易情報センター		TEL 0852-27-3121